



かしわ ぎ

柏木 はるみ



津みらい

### 市民部の組織運営に係る見直しの影響は

**問** 業務推進体制見直しの一環として市民部人権課地域調整室を廃止したが、どのような影響と効果があるのか。

また、男女共同参画室を人権課から市民交流課に移管することで業務の遂行に遅滞が生じないか。性差別によるハラスメントや女性差別をなくすことができるのか。

人権課職員の2人減による業務遂行への影響はでないのか。

### 地域連携課で相談・要望を一元的に対応する

**答** 地域調整室の廃止は、地域連携課において、全ての地域や自治会からの相談・要望を一元的に対応し、本来の姿に戻すものである。

男女共同参画室は、多様性を認め合う社会ということに重点を置き、女性差別や性差別は人権課が対応し、各種ハラスメントについては、人事担当部署が相談窓口となり、相談者が相談しやすい環境づくりに努める。

人権課の2人減については、どちらも管理職の減であり、今後は市民部長が人権施策を担当し、交流連携担当理事が一元的な広聴・相談およびダイバーシティ社会づくりを担当し、力を入れて取り組める体制をつくる。

### ●その他の質疑・質問●

○津市特定事業主行動計画の推進の状況は

- 課長級以上の女性職員の割合と男性職員の育児休業取得率の割合と男女の勤続年数と課題は
- 5～11歳の新型コロナワクチンの情報発信について
- 接種券を一斉配付した理由は
- 正確、迅速に発信する工夫は
- 接種をしない人への差別をなくす啓発は

など



▲男女共同参画室に係る推進体制の見直しを



やまじ さ

山路 小百合



津市創生

### LINE公式アカウントの導入を

**問** LINEはもともと震災時にメッセージを身近な人に届けたいとの声に応えるために誕生したアプリであり、スマートフォンにリアルタイムに情報を届けられることができ、災害時などの情報発信にも有効だと考える。

また、幅広い年齢層が利用しており、より広く市民に情報を届けられると考えるが、LINEの導入とコンテンツ・課題・セキュリティを問う。

### 他市の状況を参考に導入の検討を進める

**答** LINEの導入については、個人情報の取り扱いなど内部ルールが必要になり、他市の運営状況等も参考に検討していく。

コンテンツとしては、行政手続きのオンライン対応やチャットボットの提供などを検討する必要があり、それに伴い、使い勝手のよいコンテンツにすることや導入による費用対効果の検証、セキュリティ対策を講じることなどが課題と考えている。

特に、セキュリティに関して、LINEは、個人情報管理に懸念があるとして、令和3年4月に国から行政指導が行われており、津市が導入する場合には相応の対応を検討しなければならないと考えている。

### ●その他の質疑・質問●

- プレミアム付デジタル商品券発行事業での高齢事業者に対する推進・フォローは
- 中心市街地の未来ビジョン策定に若者や学生の携わりは
- おくやみ申請書類の簡略化を
- おくやみハンドブック作成を
- 多胎児産婦の利用期間延長を
- 特別支援教育支援員について
- 産婦が利用しやすい子育て支援を意識した駐車場表示をなど



▲妊婦・子育て産婦、共に利用許可が認識されやすい表示を